アラーム機能を使う（アラーム）

機能番号54

設定した日付の時刻にアラーム音を鳴らしたり、目覚し時計などとして使うことができます。メッセージや画像を表示させることもできます。アラームは20件まで登録できます。

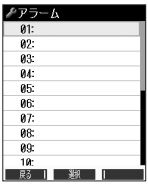
お買い上げ時：未登録

アラーム設定を登録／編集する

待受画面で

1 ⦿ ▸ 5 ▸ 4 ▸ **登録／編集したいアラーム番号を選択し、⦿【選択】**

アラーム一覧画面



以下の項目から選択し、必要な項目を登録／編集します。

1 アラームON／OFF お買い上げ時：「ON」	▸ 1 「ON」または2 「OFF」 2 「アラーム時刻」で設定した時刻に、アラームを鳴らすかどうかを設定します。	
2 アラーム時刻	▸ **時刻（24時制）を入力し、⦿【確定】** 指定した時刻にアラームを鳴らします。	
3 アラーム日付*1 お買い上げ時：「設定なし」	1 日付指定（年月日）	▸ **年月日を入力し、⦿【確定】** ▸ ㉑ **【確定】** 指定の年月日の、2 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。年月日は西暦（4桁）、月（2桁）、日（2桁）を、2008年1月1日～2090年12月31日の間で入力します。
	2 毎日	毎日、2 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	3 平日（月～金）	平日（月～金）の、2 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	4 週末（土、日）	週末（土日）の、2 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	5 曜日指定	▸ 1 ～7 **（曜日を選択）** ▸ 1 「ON」または2 「OFF」（ ▸ ㉑ **【確定】**）*2 指定した曜日の、2 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
4 アラーム音 お買い上げ時：「固定パターン」／「アラーム音」	1 固定パターン	▸ **パターンを選択し、⦿【選択】** アラーム音を、あらかじめ用意されている12種類のパターンから選択します。
	2 メロディ	▸ **メロディを選択し、⦿【選択】** アラーム音を、あらかじめ用意されている8種類のメロディから選択します。
	3 データフォルダ	▸ **アラーム音を選択し、⦿【選択】** アラーム音を、データフォルダから選択します。
5 連続アラーム お買い上げ時：「OFF」	▸ 1 「ON」または2 「OFF」 5分ごとに5回アラームを鳴らします。	
6 アラーム鳴動時間 お買い上げ時：「1分」	▸ 1 ～5 **（時間を選択）** アラームを鳴らす長さを選択します。「1分」～「5分」まで、分単位で設定します。	
7 アラームメッセージ お買い上げ時：「設定なし」	▸ **メッセージを入力し、⦿【登録】** アラーム動作時、ディスプレイに表示するメッセージを入力します（全角、半角共に32文字まで）。	

8 アラーム画像 お買い上げ時：「表示なし」	アラーム動作時に表示する画像を選択します。	
	1 固定画像	▶ 1 ～ 5 （固定画像を選択） アラーム画像を、あらかじめ用意されている5種類の画像から選択します。
	2 データフォルダ*3	▶ 画像を選択し、●【選択】 アラーム画像をデータフォルダから選択します。
	3 表示なし	アラーム起動中に画像を表示しません。

*1：3「アラーム日付」を設定しないと、アラームを登録することができません。
*2：曜日指定がすべて「OFF」の場合は、表示されません。
*3：画像サイズが240×320より大きな画像は登録できません。

2 ⓒ【登録】を押す

お知らせ

- アラーム音やアラーム画像を選択した後、ⓒ【再生】を押すと、選択した音や画像を再生することができます。
  アラーム画像再生中は、以下の操作を行うことができます。
  ・ⓓ【戻る】　：再生を終了します。
  ・●【全画面表示】：データフォルダの画像を全画面表示します。
  アラーム音再生中は、以下の操作を行うことができます。
  ・ⓒ【停止】　：再生を終了します。
  ・ⓓ【戻る】　：再生を終了します。
- アラームを設定すると、待受画面に「⏰」が表示されます。また、アラーム一覧画面では1「アラームON／OFF」が1「ON」に設定されているアラームに「🚀」が表示されます。
- アラーム機能の登録／編集は、以下の手順でも行えます。
  待受画面で●▶「アクセサリ」を選択し、●【選択】▶2「アラーム」▶登録／編集したいアラーム番号を選択し、●【選択】
- 本機の電源OFF時、また以下の動作中は、アラーム指定時刻になってもアラームは鳴りません。以下の各動作中の場合は、各動作終了後に鳴ります（機能リセット／メモリリセット／完全消去＋初期化、本機起動中／終了中を除く）。
  ・本機起動中／終了中
  ・アラーム／スケジュールアラーム／TODOアラーム鳴動中
  ・通話中／発信中／着信中／データ通信中
  ・伝言メモ応答録音中／再生中
  ・リセット中（機能／メモリ／完全消去＋初期化）
  ・リモートロック中
  ・メール送信中／受信中
  ・位置情報通知中
  ・京セラPHSユーティリティソフトウェア起動中
  ・赤外線通信中
- アラーム音量やバイブレータの設定は、「アラームの音量／バイブレータを設定する」（102ページ）をご参照ください。

アラーム設定を削除する

アラーム一覧画面で　**削除したいアラーム設定を選択▶ⓒ【メニュー】▶2「削除」**

以下の項目から選択します。

1 1件	選択したアラーム設定を削除します（「各機能の情報を削除する」144ページ）。
2 全件	登録されているアラーム設定をすべて削除します（「各機能の情報を削除する」144ページ）。

アラームを止める

アラームが鳴っているときに　**いずれかのキーを押す**

ご注意

- アラーム動作中に着信があると、アラーム動作を停止します。
- 連続アラームの場合は、連続アラームの解除方法が表示されます。ⓓ【解除】を長く（2秒以上）押すと、連続アラームは解除されます。

お知らせ

- 連続アラームが設定されている場合は、1回目のアラーム動作を停止した後、待受画面の「⏰」が点滅します。
- 連続アラームを解除するには、以下の手順でも行えます。
  待受画面で●▶㉙

メモ帳を登録する

本機をメモ帳代わりに使用することができます。メモ帳は20件まで登録できます。

メモ帳を登録する

待受画面で ⦿ ▷「メモ」を選択し、⦿【選択】▷ 4「メモ帳」▷登録するメモ帳を選択し、⦿【編集】▷メモを入力し、⦿【登録】

メモ帳一覧画面

お知らせ

- 入力できる文字数は1件あたり全角、半角共に512文字までです。
- メモ帳入力画面のメニューについては、「文字入力メニューを使う」（36ページ）をご参照ください。
- メモ入力中に着信などによって登録が中断された場合は、作成していたメモの内容は、一時的に保存されます。再度メモ作成を開始すると、「作成中のメモ帳データを使用しますか？」と表示されます。1「はい」を押すと、作成を再開できます。
- メモ入力中に☎を押すと、作成中データの破棄の確認画面が表示されます。1「はい」を押すと、作成中データは保存されずに待受画面に戻ります。
- メモ帳はテキストデータとしてエクスポートできません。

メモ帳のメニューを使う

メモ帳一覧画面で ⓜ【メニュー】を押す

以下の項目から選択します。

1編集	▷メモを編集し、⦿【登録】
2コピー	▷コピー先を選択し、⦿【OK】 メモの内容をコピーし、別のメモ帳No.に登録します。
3マイオリジナルへ登録	「メモ帳」をマイオリジナルに登録します（「マイオリジナルを使う」27ページ）。
4削除	▷1「1件」、2「選択」、または3「全件」 メモを削除します（「各機能の情報を削除する」144ページ）。
㊙赤外線送信	メモを赤外線で送信します（「赤外線で送信する」148ページ）。

お知らせ

- コピー先に、すでに登録されているメモがある場合は、「メモ帳△△は登録済みです」と表示されます。すでにあるメモを置き換えて登録するには、「メモ帳△△を書き換えますか？」の画面で1「はい」を押します。

詳細を表示する

メモ帳一覧画面で 表示させたいメモ帳を選択し、⦿【表示】▷ⓜ【メニュー】

以下の項目から選択します。

1編集	▷メモを編集し、⦿【登録】
2コピー	▷コピー先を選択し、⦿【OK】 表示しているメモの内容をコピーし、別のメモ帳No.に登録します。
3マイオリジナルへ登録	表示しているメモをマイオリジナルに登録します（「マイオリジナルを使う」27ページ）。
4削除	▷1「はい」または2「いいえ」 表示しているメモを削除します。
㊙赤外線送信	表示しているメモを赤外線で送信します（「赤外線で送信する」148ページ）。

お知らせ

- コピー先に、すでに登録されているメモがある場合は、「メモ帳△△は登録済みです」と表示されます。すでにあるメモを置き換えて登録するには、「メモ帳△△を書き換えますか？」の画面で1「はい」を押します。

ダイヤルメモを使う（ダイヤルメモ）

電話番号などを書き留めておきたい場合に、本機をメモ帳代わりに使うことができます。

ダイヤルメモを登録する

待受画面／ダイヤル編集画面／通話中に　**番号を入力し、㊟【ダイヤルメモ】**

お知らせ

- 入力できる電話番号は32桁までです。
- ダイヤルメモは3件まで登録できます。すでに3件登録されている場合、古いダイヤルメモから自動的に削除されます。

ダイヤルメモを呼び出して使う

待受画面で　**●▶「メモ」を選択し、●【選択】▶ 3「ダイヤルメモ」▶ ↕で利用したいダイヤルメモを選択▶ ㊟【メニュー】**

以下の項目から選択します。

1 発信	▶●【発信】を押す 選択したダイヤルメモの電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。	
2 アドレス帳へ登録	1 新規	選択したダイヤルメモの電話番号をアドレス帳に登録します（「アドレス帳に登録する」40ページ）。
	2 追加	▶（検索するアドレス帳の「名前」を入力し、●【検索】▶）*アドレス帳を選択し、●【選択】▶登録先を「電話番号1～3」から選択し、●【選択】▶●【登録】▶ 1「はい」 *：アドレス帳の検索方法は「呼び出し時検索設定」の設定（46ページ）で異なり、ここでは検索画面で「名前」を入力してアドレス帳を表示する方法（お買い上げ時の設定）で説明しています。 すでに登録されているアドレス帳データに、電話番号を追加登録します。
3 ライトメール作成	選択したダイヤルメモの電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」58ページ）。	
4 削除	▶ 1「1件」または 2「全件」 ダイヤルメモを削除します（「各機能の情報を削除する」144ページ）。	

お知らせ

- ダイヤルメモは、以下の入力操作時に呼び出して利用することができます。
  - ・ライトメール作成の宛先入力（「ライトメールを作成して送信する」58ページ）
  - ・着信拒否する電話番号の入力（「着信拒否する電話番号を設定する」119ページ）
  - ・発信を許可する電話番号の入力（「登録した電話番号以外に電話をかけられなくする」122ページ）

待受中に音声を録音する（Myボイスメモ登録）

待受中にマイクから音声を録音します。最大約30秒間録音できます。

待受画面で ⦿ ▷ **「メモ」を選択し、⦿【選択】** ▷ 1 **「Myボイスメモ」** ▷ 1 **「録音」** ▷ ⦿ **【開始】** ▷ **録音開始** ▷ **約30秒経過または⦿【停止】で録音終了**

ご注意

- データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください。

お知らせ

- 録音終了後、㊙【再生】を押すと、録音した音声データを再生することができます。
  ⦿【停止】を押すと再生を終了します。データフォルダから再生することもできます。
- 録音したMyボイスメモのデータ名は、以下の形式で保存されます。
  例：2008年1月10日12時34分56秒に録音して保存した場合
  「20080110_123456.kmv」
- Myボイスメモを再生するには、以下の操作を行います。
  待受画面で⦿ ▷ 「メモ」を選択し、⦿【選択】 ▷ 1 「Myボイスメモ」 ▷ 2 「再生」 ▷ 再生したいMyボイスメモを選択し、⦿【再生】
- 通話中にMyボイスメモを再生すると、Myボイスメモの内容は相手と自分の両方に聞こえます。
- Myボイスメモ一覧画面で以下の操作を行うと、メニュー画面が表示されます。
  Myボイスメモ一覧画面で㊙【メニュー】
  以下の項目から選択します。

1 **マイオリジナルへ登録**	Myボイスメモ一覧をマイオリジナルへ登録します（「マイオリジナルを使う」27ページ）。
2 **削除**	▷ 1 **「1件」または2「全件」** Myボイスメモを削除します（「各機能の情報を削除する」144ページ）。

Myボイスメモ一覧画面

通信中の電話の着信を設定する（通信中着信）

機能番号16

通信中（通話中、パケット通信中、PIAFS通信中、フレックスチェンジ方式通信中）に電話がかかってきたとき、着信を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時：「起動」

待受画面で ⦿ ▷ 1 ▷ 6

以下の項目から選択します。

1 **起動**	パケット通信中 （フレックスチェンジ方式含む）	着信した電話を受ける（通話する）ことができます。
	通話中、PIAFS通信中 （フレックスチェンジ方式含む）	着信した電話を受ける（通話する）ことができませんが着信したことはわかります。
2 **停止**	通信中は、電話の着信ができません。	

ご注意

- 「通信中着信」を1「起動」に設定していても、通信環境によっては着信できないことがあります。

お知らせ

- Eメールの送受信中は、通信中着信動作を行うことができません。

通信中のメール受信を設定する（通信中メール受信）

機能番号17

通信中（通話中、パケット通信中、PIAFS通信中、フレックスチェンジ方式通信中）にEメール／ライトメールの受信を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時：「起動」

待受画面で ● ▶ 1 ▶ 7

以下の項目から選択します。

1 起動	パケット通信中（フレックスチェンジ方式含む）	Eメール／ライトメールを受信することができます。
	通話中、PIAFS通信中（フレックスチェンジ方式含む）	Eメール／ライトメールの受信をすることはできません。
2 停止	通信中は、Eメール／ライトメールの受信をすることができません。	

ご注意

●「通信中メール受信」を1「起動」に設定していても、通信環境によっては受信できない場合があります。
●Eメールの「通信中メール受信」の動作は、ウィルコムのメールアカウントのみ有効となります。

お知らせ

●Eメールの送受信中は、通信中メール受信動作を行うことができません。

プロフィールを登録／確認する（プロフィール）

機能番号0

プロフィールの詳細を登録する

自分のプロフィールを登録します。

待受画面で

1 ● ▶ 0 ▶ ● **【表示】** ▶ ㊙ **【メニュー】** ▶ 6 **「編集」**

以下の項目から選択します。

項目	詳細
（名前）	自分の名前を入力します（全角、半角共に24文字まで）。
（ヨミ）	自分の読みを入力します（半角カナ英数字、記号で24文字まで）。
（電話番号）	電話番号を入力します（32桁まで）。
（電話番号種別）	電話番号種別を選択します。
（Eメールアドレス）	Eメールアドレスを入力します（半角64文字まで）。
（Eメールアドレス種別）	Eメールアドレス種別を選択します。
（住所）	住所を入力します（全角、半角共に40文字まで）。
（住所種別）	住所の種別を選択します。
（URL）	URLを入力します（半角英数字、記号で255文字まで）。
血液型	血液型を選択します。
誕生日	誕生日を入力します。
星座	星座を選択します。13星座から選択することもできます。
（趣味）	趣味を入力します（全角、半角共に10文字まで）。
（メモ）	メモを入力します（全角、半角共に80文字まで）。
画像	データフォルダの画像データをリンクします。

・各項目の入力方法は、「アドレス帳に登録する」（40ページ）をご参照ください。

2 **各項目を入力し、● 【登録】 または㊙ 【登録】**

お知らせ

●「電話番号1」には、自分の電話番号がすでに登録されています。変更することはできません。
●「メールアドレス3」は、オンラインサインアップで取得した自分のEメールアドレスが自動的に登録されます。変更することはできません。

登録したプロフィールの詳細を確認する

待受画面で ⦿ ▷ 0 ▷ ⦿ **【表示】**

プロフィール詳細表示画面

ご注意

●「メールアドレス3」は、オンラインサインアップ（48ページ）を行っていない場合、表示されません。

お知らせ

● 登録していない項目は、表示されません。
● プロフィール詳細表示画面で、以下の項目を選択すると、各操作を行うことができます。

項目	操作内容
電話番号2 電話番号3	▷ ⦿ **【発信】を押す** 選択した電話番号に電話をかけます。
メールアドレス1 メールアドレス2 メールアドレス3	▷ ⦿ **【Eメール作成】を押す** 選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメール（テキストメール／装飾メール）を作成して送信する」51ページ）。
URL URL	▷ ⦿ **【接続】を押す** Webページにアクセスします（「インターネットの使いかた」74ページ）。
（画像）	▷ ⦿ **【再生】を押す** 選択している画像データを表示します。

■ プロフィール詳細表示画面のメニューを使う

プロフィール詳細表示画面で ㊥ **【メニュー】を押す**

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

項目	操作内容
1 **発信***1	▷ ⦿ **【発信】を押す** 選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。
2 **ライトメール作成***1	選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」58ページ）。
3 **Eメール作成***2	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを新規作成します（「Eメール（テキストメール／装飾メール）を作成して送信する」51ページ）。
4 **URL接続***3	Operaブラウザを起動し、選択したURLに接続します。
5 **Eメールへ添付**	プロフィールを添付したEメールを作成します。 添付されたプロフィールデータのタイトル名はプロフィールの「名前」、データ名は「名前.vcf」となります。プロフィールの名前にファイル名として使用できない文字＜＞：￥ " ／？＊｜ , ; が含まれているときは、タイトル名に「notitle.vcf」と表示されます。
6 **編集**	プロフィールの情報を編集します。
7 **リセット**	▷ 1 **「はい」を押す** 追加したプロフィール情報（電話番号1とメールアドレス3以外）をリセットします。
㉖ **赤外線送信**	プロフィールを赤外線で送信します（「赤外線で送信する」148ページ）。

*1：電話番号（電話番号1以外）を選択しているときのみ表示されます。
*2：Eメールアドレスを選択しているときのみ表示されます。
*3：URLを選択しているときのみ表示されます。

お知らせ

● 国際ローミングの使用をお申し込みされた場合、電話番号1には、ローミングモードが「日本／ウィルコム」のときは本機の電話番号が、それ以外のときはローミング用番号が表示されます（「国際ローミングを利用する」142ページ）。

通話時間を表示する

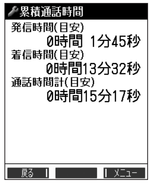
通話時間についての機能や表示の設定を行います。

通話時間の合計を表示する（累積通話時間）　機能番号11

今までにかけた電話と、かかってきた電話の通話時間合計の目安を表示します。

待受画面で　◉ ▶ [1] ▶ [1]

累積通話時間
表示画面



以下の項目が表示されます。

発信時間（目安）	今までにかけた電話の通話時間合計の目安です。
着信時間（目安）	今までにかかってきた電話の通話時間合計の目安です。
通話時間計（目安）	かけた電話とかかってきた電話の通話時間合計の目安です。

ご注意

● この時間表示は目安です。

お知らせ

● 累積通話時間は999時間59分59秒まで表示されます。これを超えた場合、累積通話時間の表示は999時間59分59秒で停止します。
● 累積通話時間のリセットは、以下の手順で行います。
累積通話時間表示画面で㋱【メニュー】 ▶ [1]「通話時間リセット」 ▶ 暗証番号を入力

通話中に通話時間を表示させる（通話時間目安表示）　機能番号12

通話時間目安表示を「ON」に設定すると、通話中に通話経過時間の目安をディスプレイに表示し、通話終了後にはその時間の目安を表示します。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で　◉ ▶ [1] ▶ [2] ▶ [1]**「ON」または**[2]**「OFF」**

ご注意

● この時間表示は目安です。

エニーキーアンサーを設定／解除する（エニーキーアンサー）　機能番号14

エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、電話がかかってきたとき、[発信]、[0]～[9]、[＊]、[＃]、㊞、㋱、Ⓦのいずれかのキーを押して電話を受けることができます。
「OFF」に設定すると、[発信]のみで電話を受けられます。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で　◉ ▶ [1] ▶ [4] ▶ [1]**「ON」または**[2]**「OFF」**

上下キーに機能を設定する（上下キー割り当て） 機能番号95

待受中にフロントジョグ⊕で行うことのできる操作を設定します。

お買い上げ時：「送受信メールBOX」

待受画面で ● ▶ 9 ▶ 5

以下の項目から選択します。

機能名＼フロントジョグ操作	⊕	⊖
1 名前順	アドレス帳を「名前順」で表示します。	
2 アドレス帳No.順	アドレス帳を「アドレス帳No.順」で表示します。	
3 グループ順	アドレス帳を「グループ順」で表示します。	
4 送受信メールBOX	受信BOX画面を表示します。	送信BOX画面を表示します。
5 音声着信音量	音声着信音量を大きくします。	音声着信音量を小さくします。

ご注意

● ここで設定したフロントジョグ操作は、待受中のみ行うことができます。待受中以外の状態では、通話中は受話音量調節、着信中は着信音量調節などの操作になります。

センターキーの長押しに機能を設定する（センターキー長押下割り当て） 機能番号96

待受中にセンターキー長押しで行うことのできる機能を設定します。

お買い上げ時：「Eメール受信」

待受画面で ● ▶ 9 ▶ 6

以下の項目から選択します。

1 Eメール受信	Eメールを受信します。
2 電卓	電卓を起動します。
3 ブックマーク	ブックマーク一覧を起動します。
4 テンプレート	装飾メール作成画面を起動します。
5 メモ帳	メモ帳を起動します。
6 録音再生	「音声／伝言メモ再生」「Myボイスメモ録音」「Myボイスメモ再生」を起動します。
7 カレンダー	カレンダーを起動します。

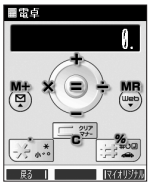
ご注意

● ここで設定したセンターキー長押し操作は、待受中のみ行うことができます。

電卓を使う（電卓）

電卓として使用します。電卓はディスプレイ中央の操作ガイドを見ながら操作することができます。

待受画面で



1 ● ▶ 「アクセサリ」を選択し、● 【選択】 ▶ 1 「電卓」

2 ダイヤルキーと以下のキーを使用して計算する

⊕	＋（たす）	＊	小数点を入力します。
⊖	－（ひく）	M+	M+（メモリに加算）
⊖	×（かける）	#	%（パーセント表示）
⊕	÷（わる）	Web	MR（メモリの値を表示）
●	＝（計算結果表示）	クリア マナー	C（表示している数字のクリア）

お知らせ

● 電卓機能の表示可能な桁数は10桁までです。
● 計算の結果にエラーが出た場合は「E」が表示されます。このとき クリア を押すとエラーが解除されます。

平型イヤホンマイクを接続する（イヤホン自動応答）　機能番号18

「イヤホン自動応答」を「ON」に設定すると、平型イヤホンマイク（市販品）を接続しているときに、手元で操作しなくても「イヤホン自動応答秒数」（139ページ）で設定した時間が経過すると、自動的に電話を受け取ることができます。

お買い上げ時：「ON」

待受画面で　●▶[1]▶[8]▶[1]「ON」または[2]「OFF」

ご注意

- 伝言メモ（28ページ）が同時に設定されているときは、設定時間の短いほうが優先されます。
- 平型イヤホンマイクのスイッチでも着信応答ができます。
- 平型イヤホンマイクは平型プラグのものが使用できます。

お知らせ

- 平型イヤホンマイクで通話を終了する場合は[ ]、または平型イヤホンマイクのスイッチを押してください。
- 平型イヤホンマイクの使いかたについては、平型イヤホンマイク（市販品）の取扱説明書をご参照ください。

平型イヤホンマイクの応答時間を設定する（イヤホン自動応答秒数）　機能番号19

「イヤホン自動応答」（139ページ）を「ON」に設定しているとき、自動的に電話を受け取るまでの時間（応答時間）を「00秒」～「30秒」に設定できます。

お買い上げ時：「09秒」

待受画面で　●▶[1]▶[9]▶↕で応答時間を選択し、●【選択】

お知らせ

- ダイヤルキーを利用して応答時間を入力することもできます。

現在の位置情報を通知する

一つの基地局のカバーするエリアが半径100～500mという利点を生かし、発信／着信の際に把握する近隣の基地局からの情報を利用した位置情報サービスが情報提供会社から提供されています。
・LI（Location Information／位置情報通知）機能：本機が認識する複数の基地局とその電界強度を通知する機能です。この機能によって、自分がいる位置またはその周辺の情報などを知ることができます（測位の誤差が発生する場合があります）。
・自動位置情報送出：「LI設定」を「ON」に設定すると、自動位置情報送出を設定することができます。
本機に通知許可番号として登録している電話番号から遠隔操作で現在位置の送出を要求された場合、自動的に位置情報を通知します。

LI機能を設定する（LI設定）　機能番号91

お買い上げ時：「OFF」

「LI設定」を「ON」に設定すると、「自動位置情報送出」を設定することができ、位置情報サービスを利用することができます（ウィルコムへの加入、およびウィルコム位置検索サービスまたは位置情報サービス提供会社などへのお申し込みが必要）。位置情報サービスを利用すると、遠隔操作により、移動する人や物などの位置を、パソコンなどのディスプレイ上にリアルタイムで表示します。迷子防止や物品の管理のためなどに設定することができます。
自動位置情報送出では、以下の3つの機能を設定することができます。
・自動位置情報送出
・位置情報を通知する電話番号（通知許可番号）の登録／修正／消去
・位置情報送出時の送出確認音の設定

待受画面で

1 ● ▶ 9 ▶ 1 ▶ 1 **「ON」**

現在の自動位置情報送出の設定状況が表示されます。

2 ● **【設定】** ▶ **暗証番号を入力**

以下の項目から選択します。

1 **自動位置情報送出機能** **お買い上げ時：「OFF」**	▶ 1 **「ON」または** 2 **「OFF」** 通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかの設定をします。あらかじめ、通知許可番号を登録しておく必要があります。
2 **着信音設定** **お買い上げ時：「OFF」**	▶ 1 **「ON」または** 2 **「OFF」** 自動位置情報送出で位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうかの設定をします。
3 **通知許可番号**	位置情報送出が要求されたときに、位置情報を自動的に送る電話番号の登録をします（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」140ページ）。

自動位置情報送出設定画面

ご注意

● 自動位置情報送出機能を利用するときは、「LI設定」を1「ON」に設定し（「LI機能を設定する」140ページ）、有効な通知許可番号が登録されている必要があります（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」140ページ）。

お知らせ

● 1「自動位置情報送出機能」で位置情報を送る相手の電話番号は、3「通知許可番号」で設定します（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」140ページ）。
● 1「自動位置情報送出機能」を設定すると、ディスプレイに「LI」が表示されます。「LI設定」が2「OFF」に設定されているときは、「LI」は表示されません。

■ 通知許可番号と通知許可パスワードを登録する　機能番号913

お買い上げ時：
通知許可番号：未登録
通知許可パスワード：
未登録

自動位置情報を送る電話番号を、「通知許可番号」として登録します。
電話番号は5件まで登録することができ、それぞれに通知許可パスワードを設定します。
通知許可パスワードについては、ウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

自動位置情報送出設定画面で

1 3 **「通知許可番号」** ▶ **登録する番号を選択** ▶ ⓒ **【メニュー】** ▶ 1 **「登録」**

2 1 **「通知許可番号」を入力し、** ▼ ▶ 2 **「通知許可パスワード」を入力し、** ● **【登録】**

お知らせ

● 入力できる通知許可番号は20桁までです。
● 入力できる通知許可パスワードは1桁から8桁までです。

■ 通知許可番号と通知許可パスワードを編集／削除する

登録した通知許可番号と通知許可パスワードを編集／削除します。

自動位置情報送出設定画面で　3「通知許可番号」▶編集または削除する番号を選択▶ ⓜ【メニュー】

以下の項目から選択します。

1 編集	▶ 1「通知許可番号」を編集し、▼▶ 2「通知許可パスワード」を編集し、●【登録】 登録済みの通知許可番号と通知許可パスワードを編集します。
2 削除	▶ 1「1件」または2「全件」 通知許可番号と通知許可パスワードを削除します（「各機能の情報を削除する」144ページ）。

位置情報を通知する

「LI設定」を「ON」に設定すると、必要なときに任意の電話番号（位置表示用ディスプレイなどの周辺機器）に位置情報を通知することができます。

待受画面で　📞を長く（1秒以上）押し、発信画面に「♥」を表示させる▶電話番号を入力する▶ 📞

お知らせ

- 電話番号は、発信履歴（23ページ）、着信履歴（23ページ）、アドレス帳（43ページ）からも呼び出すことができます。
- 位置情報を通知または送出するときは、分計発信（156ページ）を使用できます。

相手から位置情報送出の要求があったとき

「LI設定」および「自動位置情報送出機能」を「ON」に設定すると、あらかじめ登録している「通知許可番号」から位置情報送出の要求があったとき、自動的に位置情報を送ります。詳しくは、ウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お知らせ

- 本機を操作中に位置情報送出の要求があったとき、操作は中断されます。位置情報の送出が終了すると、待受画面に戻ります。

所在位置を登録する

「LI設定」および「自動位置情報送出機能」を「ON」に設定すると、本機の所在位置を登録することができます。位置情報送出の要求があったときは、登録した情報が送られます。また、位置情報と一緒に、そのときの状態を「ステータスコード」を使って登録することもできます。詳しくは、ウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

■ 所在位置のみ登録する

待受画面で

1 0を長く（1秒以上）押す

位置情報送信画面が表示されます。

2 📞を押す

位置情報動作中画面が表示されます。送信が終了すると、送信終了画面に切り替わり、待受画面に戻ります。

■ 所在位置とステータスコードを登録する

待受画面で　＊▶ステータスコードを入力する▶＊▶ 📞

ご注意

- ステータスコードを登録する際は、184発信、186発信、分計発信は使用できません。

お知らせ

- ステータスコードは「1」～「20」の範囲で入力してください。ステータスコードの詳細についてはウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

国際ローミングを利用する（お申し込み必要）（国際ローミング） 機能番号94

ウィルコムに別途国際ローミング契約をお申し込みになると、本機が台湾やタイ、ベトナム、中国の一部地域でも使えるようになります。台湾やタイ、ベトナム、中国でご使用になる場合には、本機をローミングモード（日本以外）に切り替える必要があります。利用できる「対応エリア」、「地域」、「国」なども含め、詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
本機を充電する際のACアダプタ（AD330K）は、AC100～240Vに対応しています。海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。

ローミングモードに切り替える

ローミングモードで使用するには、ローミングモードへ切り替える必要があります。

待受画面で ⦿ ▶ 9 ▶ 4

以下の項目ら選択します。

1 事業者選択方法 お買い上げ時：「自動選択」	1 自動選択	ローミング先の事業者を、本機が自動で選択します。自動選択終了後、2「自動選択事業者一覧」の画面が表示されます。
	2 手動選択	ローミング先の事業者を、3「国・地域／事業者選択」から選択します。
2 自動選択事業者一覧*1	「自動選択」可能な事業者が表示されます。1「自動選択」で選択された事業者の横に「 」が表示されます。	
3 国・地域／事業者選択*2 お買い上げ時：「日本／ウィルコム」	1 日本／ウィルコム	本機を日本で使用できるように切り替えます。
	2 台湾／大衆電信FITEL	本機を台湾で使用できるように切り替えます。
	3 タイ／true	本機をタイで使用できるように切り替えます。
	4 ベトナム／VNPT	本機をベトナムで使用できるように切り替えます。
	5 中国／中国PHS	本機を中国の一部地域で使用できるように切り替えます。
4 ローミング情報登録	各国ごとのローミング情報を設定します（「ローミング情報を登録する」143ページ）。	

*1：1「事業者選択方法」で1「自動選択」を選択した場合にのみ選択できます。
*2：1「事業者選択方法」で2「手動選択」を選択した場合にのみ選択できます。

ご注意

- 1「自動選択」で台湾、タイ、ベトナム、または中国でご使用する際は、入国時に本機の電源のOFF／ON（20ページ）をしてください。日本に帰国した際も、本機の電源のOFF／ONをしてください。
- 2「手動選択」で台湾、タイ、ベトナム、または中国でご使用する際は、入国時に3「国・地域／事業者選択」をその国・地域／事業者に切り替えてください。日本に帰国した際は、必ず3「国・地域／事業者選択」を1「日本／ウィルコム」に切り替えてください。

お知らせ

- ローミングモードに切り替えると、ディスプレイに「ROAM」が表示されます。
- ローミングモードでは、以下の機能はご利用になれません。
  - 安全運転モードのネットワーク応答、ネットワーク応答＋音声メモの切り替え
  - 発信者番号付加機能（184、186）
  - 分計発信
  - ライトメール送信・受信
  - Eメール自動受信
  - LI設定
  - 通信中着信
  - 通信中メール受信
  - サービス問合せ
  - ソフトウェア更新
- ローミングモード時は、時差情報により本機の時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。

ローミングモードで電話をかける

ローミングモードで電話をかけるには、直接相手の電話番号を入力し、☎を押します。
ローミング国・地域から日本など他の国や地域に電話をかけるときには、国際プリフィックス番号の入力が必要となります。

ローミングモードで電話を受ける

ローミングモードで電話を受けるには、ローミング電話番号、ウィルコムの電話番号のどちらでも電話を受けることができます。ただし、ウィルコムの電話番号で電話を受けるには、ウィルコムへのお申し込みが必要となります。

国際プリフィックス番号を簡単に付ける

ローミングモードのご利用時に、日本など他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プリフィックス番号」を付ける必要があります。本機では、簡単な操作で国際プリフィックス番号を入力することができます。

例：日本の「070-1234-xxxx」という番号に電話をかける場合

待受画面で

1 [＊] ▶ [＊]

国際プリフィックス番号と日本の国番号が表示されます。

2 [7] ▶ [0] ▶ [1] ▶ [2] ▶ [3] ▶ [4] ▶ [x] ▶ [x] ▶ [x] ▶ [x]

相手の電話番号から、先頭の「0」を除いた番号（ここでは「701234xxxx」）を入力します。

3 [ ]を押す

お知らせ

- 発信履歴、着信履歴、ダイヤルメモ、またはアドレス帳に登録されている電話番号に国際プリフィックス番号を付加して電話をかけるには、以下の手順を行います。

■発信履歴／着信履歴の電話番号に付加する場合
待受画面で○（発信履歴）または○（着信履歴）▶ ⓜ【メニュー】▶ [1]「発信」▶ ○で表示されている電話番号の頭にカーソルを合わせる ▶ [＊] ▶ [＊] ▶ [ ]

■アドレス帳に登録されている電話番号に付加する場合
待受画面でⓜ【アドレス帳】（▶ 検索するアドレス帳の「名前」を入力し、●【検索】）* ▶ アドレス帳を選択し、●【詳細表示】▶ 電話番号を選択 ▶ ⓜ【メニュー】▶ [3]「発信」▶ ○で表示されている電話番号の頭にカーソルを合わせる ▶ [＊] ▶ [＊] ▶ [ ]

*：アドレス帳の検索方法は「呼び出し時検索設定」の設定（46ページ）で異なり、ここでは検索画面で「名前」を入力してアドレス帳を表示する方法（お買い上げ時の設定）で説明しています。

ローミング情報を登録する（ローミング情報登録）　機能番号944

ローミング情報の登録は、手入力による登録と、ローミングメール登録の2とおりがあります。ここでは、手入力による登録方法を説明します。

待受画面で

1 ● ▶ [9] ▶ [4] ▶ [4]

以下の項目から選択します。

[1]台湾／大衆電信FITEL	▶ [2]「ローミング電話番号」▶ ローミング電話番号を入力する	
[2]タイ／true [3]ベトナム／VNPT [4]中国／中国PHS	[1]登録日時	ローミング情報が登録された日時を表示します。
	[2]ローミング先PS-ID	▶ ローミング先PS-IDを入力する
	[3]PS番号	▶ PS番号を入力する
	[4]ローミング電話番号	▶ ローミング電話番号を入力する 入力できる桁数は32桁までです。
	[5]暗証番号	▶ 暗証番号を入力する 入力できる桁数は2桁までです。

2 ●【登録】を押す

お知らせ

- ローミングメール登録とは、お客様がウィルコムサービスセンターで国際ローミングのお申し込みをされた後、約1時間程でライトメールにてローミング情報が通知され、自動的に本機に登録される方法です。
- ローミング情報をリセットした場合は、以下の手順で登録し直します。

■タイ、ベトナム、または中国の場合
ローミングメールで通知された内容をコピー ▶ 待受画面で● ▶ [9] ▶ [4] ▶ [4] ▶ [2]「タイ／true」、[3]「ベトナム／VNPT」、または[4]「中国／中国PHS」▶「はい」を選択し、●【選択】▶ ローミング情報が入力されていることを確認し、●【登録】

- ローミング電話番号を登録すると、登録した電話番号をプロフィール（「プロフィールを登録／確認する」135ページ）で確認することができます。

ローミング情報を削除する

選択した国のローミング情報をすべて削除します。

待受画面で　● ▶ [9] ▶ [4] ▶ [4] ▶ ⓜ「削除」▶ [1]「はい」

各機能の情報を削除する

発信履歴やアドレス帳など、各機能の情報を削除するには、⑬【メニュー】でメニューを表示させて、「削除」を選択します。機能によって、「削除」を選択した後、「1件」「全件」などの削除方法を選択します。

削除方法	内容
1件／1件削除	▶ 1 「はい」を押す 選択している、または表示している内容を削除します。
選択	▶ 削除する内容を選択し、⊙【選択】を繰り返す ▶ ⑪【削除】または⑬【削除】 ▶ 1 「はい」 削除したい内容を複数選択し、削除します。選択を解除するには、選択したデータを選択し、⊙【解除】を押します。
全件／全削除	▶ 暗証番号を入力* ▶ 1 「はい」 すべての内容を削除します。
グループ	アドレス帳の削除で表示されます。 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 「はい」 選択したグループを削除します。
チェック済み	TODOリストの削除で表示されます。 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 「はい」 チェックが付いているTODOをすべて削除します。
指定日以前	スケジュールの削除で表示されます。 ▶ 暗証番号を入力 ▶ ⊙【選択】 ▶ 指定日を入力し、⊙【確定】 ▶ 1 「はい」 指定日以前のスケジュールをすべて削除します。
フォルダ／フォルダ内	データフォルダ、ブックマークの削除で表示されます。 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 「はい」 フォルダ内のデータをすべて削除します。

*：発信履歴／着信履歴／不在着信履歴を全件削除する場合、入力する必要はありません。

データのバックアップをする

データフォルダへのバックアップ機能を利用して、アドレス帳やスケジュール、TODOリスト、ブックマークをバックアップすることができます。バックアップしたデータは、紛失したときなどに再度呼び出して登録することができます。

・アドレス帳（40ページ）　・ブックマーク（78ページ）
・スケジュール（112ページ）　・TODOリスト（115ページ）

データをバックアップする

それぞれの機能に登録されているデータを、データフォルダにエクスポート（書き込み）してバックアップしておくことができます。

待受画面で ⊙ ▶ 「アクセサリ」を選択し、⊙【選択】 ▶ 3 「バックアップ」 ▶ 1 「本体⇒データフォルダ」 ▶ 1 「アドレス帳」、2 「スケジュール」、3 「TODOリスト」、または4 「ブックマーク」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 「はい」

ご注意

- バックアップしたファイルは再生できません。
- データフォルダの空き容量が不足している場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除し、空き容量を確保してください（「データを削除する」99ページ）。

お知らせ

- エクスポートしたデータはデータフォルダの「その他フォルダ」に保存されます。ファイル名は以下のとおりです。

データの種類	ファイル名
アドレス帳	AD331K.KBF
スケジュール	SD331K.KBF
TODOリスト	TD331K.KBF
ブックマーク	BM331K.KBF

- エクスポートしたデータのファイル名は、変更することができます。ただし、ファイル名を変更した場合は、バックアップデータをインポートすることはできません。
- データフォルダに同名のバックアップデータが保存されている場合は、そのバックアップデータに上書きします。
- バックアップデータは、データフォルダから削除することができます（「データを削除する」99ページ）。
- エクスポート中に、☎を押したり、着信などによって中断された場合は、中断されるまでの内容は削除されます。この場合、再度エクスポートし直してください。

バックアップデータをインポート（それぞれの機能に登録）する

データフォルダに保存されているバックアップデータを、それぞれの機能に保存し直します。

待受画面で ● ▶ **「アクセサリ」を選択し、●【選択】** ▶ 3 **「バックアップ」** ▶ 2 **「データフォルダ⇒本体」** ▶ 1 **「アドレス帳」、2「スケジュール」、3「TODOリスト」、または4「ブックマーク」** ▶ **暗証番号を入力** ▶ 1 **「はい」**

お知らせ

- インポート中に、☎を押したり、着信などによって中断された場合は、中断されるまでの内容が保存されます。この場合、再度インポートし直してください。
- 本機（HONEY BEE（WX331K））以外のバックアップデータも、本機にインポートすることができます。インポートできるバックアップデータの種類は以下のとおりです。事前に、データフォルダにバックアップファイルを保存しておいてください。

機種名	ファイルの種類
WX310K	AD310K.vcf、SD310K.vcs、TD310K.vcs、BM310K.vbm
WX320K	AD320K.KBF、SD320K.KBF、TD320K.KBF、BM320K.KBF
WX320KR	
WX330K	AD330K.KBF、SD330K.KBF、TD330K.KBF、BM330K.KBF

●パソコンへのデータのバックアップについて

データのバックアップは、パソコンにも行うことができます。その際は、付属CD-ROMの「京セラPHSユーティリティソフトウェア」をインストールしてください。インストール方法については、付属CD-ROMのインストーラーの指示にしたがってください。「京セラPHSユーティリティソフトウェア」の詳細については、「京セラPHSユーティリティソフトウェア」をインストールした後、「スタート」⇒「すべてのプログラム」⇒「京セラPHSユーティリティソフトウェア」⇒「取扱説明書」にてご確認ください。

対応OS：Microsoft® Windows® Vista®／XP／2000（日本語版プリインストールモデルに限る）

●京セラPHSユーティリティソフトウエアの機能について

- **メモリダイヤルツール**
  電話機のアドレス帳の各種設定※、内容等をパソコン上で自由に編集できます。電話機では手間のかかる名前の入力や、何百件ものデータの整理や検索も、パソコンの大きな画面やキーボードを使えば簡単です。
  ※一部設定できない機能がございます。
- **メールツール**
  電話機に届いたEメール／ライトメールをパソコンで管理したり、Eメールをパソコンで作成したりすることができます。
- **ブックマークツール**
  電話機に登録したホームページのブックマークをパソコンに転送したり、パソコンに登録したブックマークを電話機に転送したりすることができます。
- **データファイラー**
  データフォルダにある画像や着信メロディなどのデータのバックアップなどを行うことができます。
  ※著作権保護がかかっているデータについては、転送することができません。
  ※扱えるファイルサイズは1ファイルにつき5MBまでです。
- **画像ツール**
  電話機の待受画面の作成や、作成した画像を電話機に転送することができます。
- **スケジュールツール**
  電話機に登録したスケジュール／TODOをパソコンに転送したり、パソコン上で編集したスケジュール／TODOを電話機に転送したりすることができます。Outlookの予定表をインポートすることも可能です。
  ※電話機に転送できるスケジュールは150件、TODOは50件です。

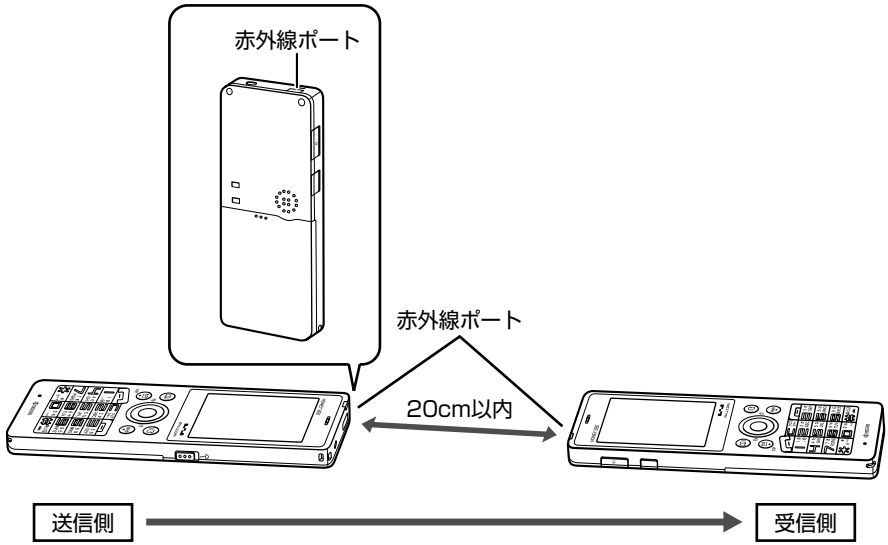
赤外線通信の使いかた

赤外線通信について

赤外線通信の機能を持つ機器と本機で、赤外線を使用してデータの送受信を行うことができます。
赤外線で送受信できるデータは以下のとおりです。

■送信できるデータの種類

送信データ	送信件数	送信データ	送信件数
プロフィール	1件	ブックマーク	1件／全件
アドレス帳	1件／全件	メモ帳	1件／全件
スケジュール	1件／全件	データフォルダ	1件
TODOリスト	1件／全件		



赤外線通信の通信距離は20cm以内です。また、データの送受信が終わるまで、本機の赤外線ポートを相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

ご注意

- 赤外線通信中は、以下の機能の指定時刻が経過しても、起動しません。赤外線通信完了後に起動します。また、赤外線通信中は「USB通信」は行えません。
  - ・アラーム
  - ・スケジュールアラーム
  - ・TODOリストアラーム
  - ・RSS自動更新
- 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。

お知らせ

- 赤外線通信を行うには送信側と受信側でそれぞれ準備する必要があります（受信側が赤外線受信待ち状態になっていることを確認してください）。
- 本機の赤外線通信はIrMC™バージョン1.1に準拠している機器と通信可能です。ただし、相手の機器がIrMC™バージョン1.1に準拠していても、機器やデータによっては正しく送受信できないことがあります。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 送受信できるデータ容量は最大4Mバイトです。また、データの容量によって通信や登録、保存に時間がかかる場合があります。
- ドコモの携帯電話に送信できる画像のサイズは、最大1Mバイトとなります。

赤外線で受信する

本機を赤外線受信の待機状態にして、通信相手からのデータ送信を待ちます。
受信時に認証パスワードの入力が必要な場合があります。認証パスワードとは、受信を行う前にあらかじめ通信相手と決める4桁の数字です。まず送信側で設定し、受信側は同じ数字を入力します。
受信するデータが4Mバイトを超える場合はエラーメッセージが表示され、受信操作が中止されます。

待受画面で

1 ●▶「赤外線通信」を選択し、●【選択】▶ 1「赤外線受信」

赤外線受信待ち状態になります。

2 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる

赤外線受信画面

■ 1件受信の場合

3 受信完了▶ 1「はい」

■ 全件受信の場合

3 認証パスワードを入力*▶受信完了

*：約30秒以内に認証パスワードを入力しないと、受信を中止します。

以下の項目から選択します。表示される内容は、選択した項目により異なります。

1 **追加登録**	受信したデータを本機内のデータに追加登録します。
2 **上書き登録**	▶ 1「はい」▶ **暗証番号を入力** 本機に登録済みのデータを削除して、受信したデータを上書き登録します。全件受信したアドレス帳を上書き登録する場合、同時にプロフィールも上書きされます。
3 **登録しない**	受信したデータを破棄して、赤外線メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「赤外線受信」を選択後、約30秒以内にデータを受信しないと、赤外線受信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 受信したアドレス帳、スケジュール、TODOリストのデータがシークレット設定「ON」されている場合、本機でもシークレット設定「ON」されます。
- アドレス帳、スケジュール、TODOリスト、ブックマーク、メモ帳のデータ受信時、受信先の登録件数が本機の登録可能件数の上限を超えた場合、何件受信したのかの確認画面が表示されます。1「追加登録」、2「上書き登録」、3「登録しない」から選択します。上限を超えた分のデータは破棄されます。

■ データフォルダのデータを受信する

データフォルダのデータを1件受信します。

赤外線受信画面で　**本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる▶受信完了**

以下の項目から選択します。

1 **データフォルダに保存**	受信したデータをデータフォルダに保存します。
2 **保存しない**	受信したデータを破棄して、赤外線通信メニュー画面に戻ります。

お知らせ

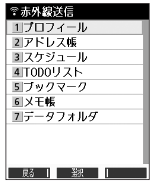
- 「赤外線受信」を選択後、約30秒以内にデータを受信しないと、赤外線受信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 保存先に同じファイル名がある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は、1「はい」を押します。

赤外線で送信する

赤外線受信の待機をしている通信相手に、本機から赤外線でデータを送信します。
全件送信を選択した場合は、認証パスワードの入力が必要です。認証パスワードとは、送信を行う前にあらかじめ通信相手と決める4桁の数字です。まず送信側で設定し、受信側は同じ数字を入力します。送信するデータが4Mバイトを超える場合はエラーメッセージが表示され、送信操作が中止されます。

待受画面で

赤外線送信画面



1 ⦿ ▶ **「赤外線通信」を選択し、⦿【選択】** ▶ [2] **「赤外線送信」**

2 [1] **「プロフィール」**＊、[2] **「アドレス帳」**、[3] **「スケジュール」**、[4] **「TODOリスト」**、[5] **「ブックマーク」**、**または** [6] **「メモ帳」**

＊：[1]「プロフィール」を選択した場合、手順3の操作は不要です。

■ 1件送信の場合

3 [1] **「1件送信」** ▶ **データを選択し、⦿【選択】**

■ 全件送信の場合

3 [2] **「全件送信」** ▶ **暗証番号を入力** ▶ [1] **「はい」** ▶ **認証パスワードを入力**

4 **本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる** ▶ **送信完了**

ご注意

● 著作権のあるデータは送信できません。

お知らせ

● 送信中に送信を中止するには、[クリア]、㊥【中止】、または[終話]を押します。
● 送信後、相手が約30秒間応答しないと、赤外線送信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
● 1件送信時にプロフィール、アドレス帳に画像データが登録されている場合は、画像データを送信するかどうかの確認画面が表示されます。画像データを送信する場合は、[1]「はい」を押します。ただし、スケジュールは画像データを送信できません。
● アドレス帳全件送信の場合は、1件目にプロフィールデータを付けて送信します。
● アドレス帳、スケジュール、TODOリスト全件送信時、本機のシークレットモード（123ページ）を「OFF」に設定中は、シークレット登録されたデータは送信できません。また「全件送信」の場合、シークレットモードを「ON」に設定中は、シークレット登録されたデータも送信します。ただし、画像は送信できません。
●「アドレス帳制限」「スケジュール制限」（121ページ）設定中は、1件送信の場合でも手順2の後に暗証番号を入力します。

■ データフォルダのデータを送信する

データフォルダのデータを1件送信します。

赤外線送信画面で [7] **「データフォルダ」** ▶ **データを選択し、⦿【選択】** ▶ **本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる** ▶ **送信完了**

お知らせ

● 送信中に送信を中断するには、[クリア]、㊥【中止】、または[終話]を押します。
● 送信後、相手が約30秒間応答しないと、赤外線送信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。

データ通信の使いかた

データ通信の準備をする

パソコンと本機をUSBケーブルで接続してデータ通信をするために必要なものは、以下のとおりです。
・USBケーブル USB（A）−USB（Micro-B）
・USB端子を備えたノートパソコンなど各種情報端末
・通信ソフト

データ通信について

本機で利用できるデータ通信方式は、以下の方式があります。

通信方式		最大通信速度	説明	付加番号
4xパケット方式		204kbps*	ウィルコムが提供する、パケット通信方式です（W-OAM対応）。情報をパケットに分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。 数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。 ご利用になるには、ウィルコムの4x／2x／1xパケット方式に対応した料金コースにご契約いただき、アクセスポイントに接続してください。	##64
2xパケット方式		102kbps*		##64
1xパケット方式		51kbps*		##61
フレックスチェンジ方式		64kbps	ウィルコムが提供する、1xパケット方式と64kPIAFS（ベストエフォート方式）の通信方式を、送受信されるデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。安定した速度を得ることができるため、より快適にデータ通信をご利用できます。 ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式に対応した料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。	##7
64kPIAFS	ベストエフォート方式	64kbps	ウィルコムが提供する、データ通信方式です。基地局の利用状況など、通信環境に対応して64／32kbpsの通信速度を選択し、切れにくい通信環境を実現します。	##4
	ギャランティ方式	64kbps	64kbps固定でのデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できない場合は切断します。	
32kPIAFS		32kbps	PHSの通信標準規格の通信方式です。	##3

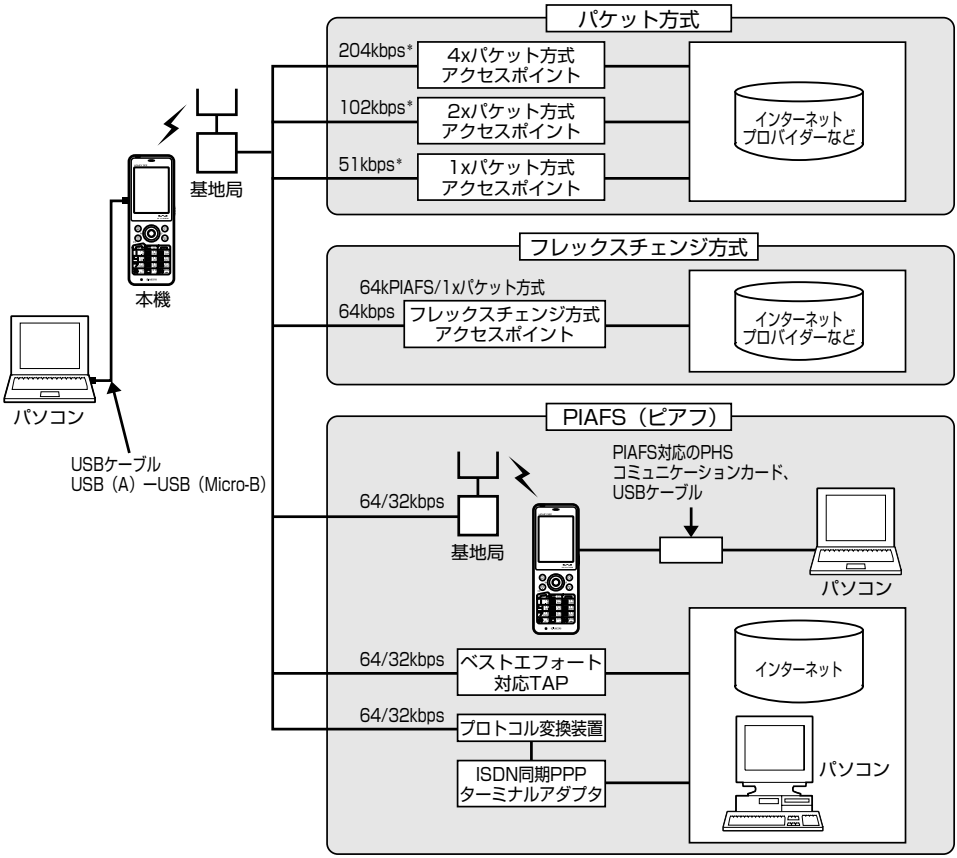
*：W-OAM対応地域における最大通信速度となります。
非対応地域では、それぞれ以下のようになります。
4xパケット方式：128kbps
2xパケット方式：64kbps
1xパケット方式：32kbps

ご注意

●パケット方式を使用する場合は、「発信者番号通知」（25ページ）を「ON」に設定してください。
●パソコンへのメールソフトの設定、ダイヤルアップの設定につきましては、各プロバイダーにお問い合わせください。
●PIAFS方式で使用する場合でも、プロバイダーによっては「発信者番号通知」（25ページ）を「ON」に設定する必要があります。
●ダイヤルアップ用の電話番号の最後に、必ずご利用の通信方式に合わせた付加番号を入力してください。

お知らせ

●W-OAMとは、電波状況に応じて、最適な変調方式を自動的に選択する無線技術です。



*：W-OAM対応地域における最大通信速度となります。
非対応地域では、それぞれ以下のようになります。
4xパケット方式：128kbps
2xパケット方式：64kbps
1xパケット方式：32kbps

お知らせ

- PIAFSとは、PHS Internet Access Forum Standardの略で、PHSでデータ通信を行う場合の標準規格です。
- bpsとは、Bits Per Secondの略で、データ通信で送る情報量の単位です。1秒間に何ビットのデータを送ることができるかを示します。
- 無線FAX、無線モデム、無線インターネットには対応していません。

データ通信に関してのお問い合わせ窓口

ウィルコムサービスセンター

●ウィルコムの電話から　局番なしの157（無料）

●一般加入電話／公衆電話から　0120-921-157（無料）
※携帯電話・PHSからもかけられます。

受付時間：9：00～19：00（日・祝日も受付）

（2008年2月現在）

64kPIAFSの通信方式を設定する（データ通信方式）　機能番号92

64kPIAFS通信の方式を、「ベストエフォート型」と「ギャランティ型」から選択することができます。

お買い上げ時：「ベストエフォート型」

待受画面で　●▶9▶2▶1 **「ベストエフォート型」または2「ギャランティ型」**

お知らせ

- ウィルコムと契約をされている場合は、1「ベストエフォート型」に設定してください。
- ウィルコム以外の事業者と契約をされている場合は、各事業者の通信方式を確認してください。

本機とパソコンを接続する

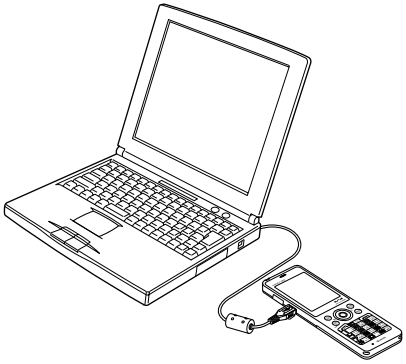
データ通信をするために本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。USBケーブルは同梱品をお使いください。

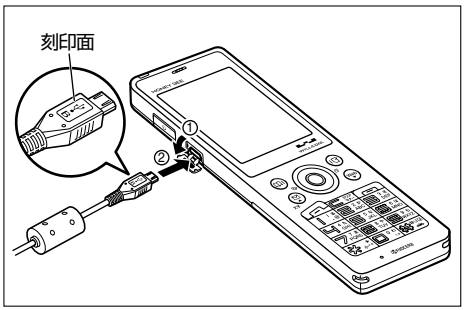
1 パソコンを起動する▶付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする

2 USBケーブルの幅広コネクタの向きをよく確認し、パソコンのUSBポートに接続する

3 本機のUSB端子カバーをはずし、USBケーブルのMicro-Bコネクタを本機のUSB端子にまっすぐ差し込む

接続が完了し、データ通信が可能な状態になったときは「ピポ」という確認音が鳴ります（着信音が設定されているとき）。ただし、パソコン側で低消費電流設定をしていると、接続しても「データ通信OK」と表示されないことがあります。





USB端子のカバーを①の方向に開き、②の方向にUSBケーブルを差し込んでください。

お知らせ

- USBケーブルを取りはずすときは、接続と逆の順序で行ってください。
- ご使用になるパソコンなどの詳しい設定や操作については、パソコンなどに付属の取扱説明書をお読みください。
- 本機を卓上ホルダに置いて充電しながらデータ通信を行うと、バッテリーの消費を節約することができます。

USBモードを切り替える（USBモード）　機能番号72

本機をパソコンと接続したときに使用するUSBモードを切り替えます。

お買い上げ時：「モデム&ユーティリティ」

待受画面で　●▶7▶2

以下の項目から選択します。

1 **モデム**	本機を、CDC(Communication Device Class)に準拠したUSBモデムとして使用したいときに選択します。CDCに準拠したUSBモデムでは、Macintoshでデータ通信が利用できます。*
2 **モデム&ユーティリティ**	本機をモデムとして使用したり、付属CD-ROM内のWindows用の京セラPHSユーティリティソフトウェアを使用したいときに選択します（AH-K3001V／AH-K3002V／WX300K／WX310K／WX320K／WX320KR／WX330Kと互換）。

*：Windowsがプリインストールされているパソコン（Microsoft® Windows® Vista®／XP／2000がプリインストールされているパソコン）、Mac OS Xがプリインストールされているパソコンの場合、USBケーブルで接続するとモデム情報のインストールを求められます。モデム情報は付属のCD-ROMからインストールしてください。

発信する

待受画面で　本機とUSBケーブルで接続したパソコンなどで、データ通信の発信操作を行う

・本機のディスプレイに通信方式の種別がアイコン文字で表示されます。

表示されるアイコンは以下のとおりです。

PT	パケット方式
FC	フレックスチェンジ方式
64K BE	64kPIAFS（ベストエフォート型）
64K GR	64kPIAFS（ギャランティ型）
32K	32kPIAFS

・アクセスポイントに接続すると、本機のディスプレイに通信時間が表示されます。データ通信を終了するには、パソコンからデータ通信を切断します。

ご注意

●以下の状態でのご利用は通信切断の原因となりますので、ご注意ください。
　・電波状態が悪い場所でのご利用
　・移動しながらのご利用
●「タイマーロック」が設定されているときは、データ通信を利用することはできません（「自動的にダイヤルロックをかける」118ページ）。

お知らせ

●[終了]を押しても、データ通信を切断することができます。
●確実にデータ通信を行うため、データ通信を始める前に本機のバッテリー残量が十分であることを確認してください。
●分計発信をするときは、電話番号の最後に「,01」を入力します（「料金分計サービスについて（お申し込み必要）」156ページ）。
　例：「03-△△△△-△△△△##4,01」
　なお、データ通信での分計発信は、PIAFSのみ対応となります。
●データ通信をしたときの電話番号は、発信履歴には記録されません。
●通信設定やデータ通信の発信操作は、使用する通信ソフトにより異なります。詳しくは、通信ソフトの取扱説明書をご参照ください。
●データ通信の通信速度は、接続する機器や通信状況によって変わることがあります。
●通信速度が遅いと感じるとき
　・電波や回線の状態が悪いことがあります。
　・パソコンの通信設定が遅い場合があります。パソコンの設定を確認してください。
　・ディスプレイに「パケット」、「32kPIAFS」、「64kPIAFS BE」、「64kPIAFS GR」と表示されていても、相手のデータ通信速度が遅い場合、実際の通信速度は遅くなります。

着信する

データ通信中に　パソコンで着信の操作を行う

・本機のディスプレイに「データ着信」と表示されます。
　データ通信を終了するときは、パソコンからデータ通信を切断します。

ご注意

●[終了]を押す、またはUSBケーブルを接続しパソコンで着信の操作を行うまで、着信音は鳴り続けます。[応答]を押して応答することはできません。

お知らせ

●[終了]を押しても、データ通信を切断することができます。
●アドレス帳に登録されている電話番号から着信があったときは、登録名と着信番号が表示されます。ただし、以下の場合では、アドレス帳に登録されている電話番号から着信があった場合でも、登録名は表示されず、着信番号のみが表示されます。
　・アドレス帳制限が「ON」に設定されているとき（「使用制限を設定／解除する」121ページ）
　・着信した電話番号がシークレット登録されているとき（「シークレットモードを設定する」123ページ）
●電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしているときや、公衆電話からの発信のときなどは、以下のように表示されます。

表示内容	非通知理由
ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話発信	公衆電話からかけている

●データ通信の着信はデータ通信の発信とは異なり、「タイマーロック」が設定されていても、着信することができます。
●USBケーブルなどの接続ができていない状態でデータ通信を着信したときは、着信中にデータ通信の接続を完了すると、通常どおり受信することができます。[終了]を押すと着信を拒否することができます。
●データ通信を着信したときの電話番号は、着信履歴に記憶されます。